

## 令和7年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 令和7年8月20日（水） 10時00分～12時00分

2 場 所 千葉市役所本庁舎（高層棟）2階 XL会議室203

3 出席者 (委員)

小川直哉会長、五月女重夫副会長、梅村芳延委員、佐倉和明委員、佐藤和子委員  
高橋薰委員、利渉敏江委員

(事務局)

堺生活文化スポーツ部長、内山スポーツ振興課長、須長担当課長、奈良担当課長補佐  
北田主査、吉井主査、田口主査、田母神主任主事、高野主事、大西主事、島崎主事  
中村保健体育課長補佐  
布施公益財団法人千葉市スポーツ協会事務局補佐

### 4 議 題

#### （1）報告

ア 令和6年度スポーツ振興事業実績及び令和7年度方針と施策について

- ① スポーツ振興課
- ② 保健体育課
- ③ スポーツ協会

イ 千葉市スポーツ推進計画の進行管理について

#### （2）審議

ア 第2期千葉市スポーツ推進計画骨子案について

### 5 議題の概要

#### （1）報告

4項目の報告を行った。

#### （2）審議

第2期千葉市スポーツ推進計画骨子案についてご審議いただいた。

### 6 会議経過

開 会 午前10時00分

【奈良担当課長補佐】 本日の進行を務めます、スポーツ振興課の奈良でございます。なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。本日傍聴者はおりません。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることになりますので、あらかじめ御了解ください。それでは次第に従いまして、はじめに、小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】 みなさんおはようございます。本日は、残暑の厳しい中、令和7年度第1回スポーツ推進審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

昨日の甲子園では、岐阜商業と優勝校筆頭の横浜が素晴らしい試合を展開しまして、高校球児も本当に暑い中頑張っております。先月には、約2週間に渡りまして、ポートアリーナでバレーボールネーションズリーグが行われ、私も大会実行委員長を務

め、初めてバレーボールの始球式をやりました。日本の試合は男女ともに満席で、プロスポーツの人気を改めて認識しました。国内外から多くの観客が来て、経済波及効果も大きいものがあったかと思います。

さて本日は、報告事項が2件、審議事項が1件です。みなさま、ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。

【奈良担当課長補佐】ありがとうございました。続きまして、生活文化スポーツ部長堺よりご挨拶申し上げます。

【堺部長】みなさま、おはようございます。生活文化スポーツ部長の堺でございます。

本日は、お忙しい中、お暑い中お集まりいただき誠にありがとうございます。

小川会長からもありましたが、ネーションズリーグが大変盛り上がり、大会を通じて千葉市の名前が全国的に発信されたこと、とても嬉しく思っております。ネーションズリーグ以外にも今年は、アルティーリ千葉さんが悲願のB1昇格を果たされ、またジェフさんもJ1昇格に向けて現在2位という好位置に着いております。千葉市民及び街がスポーツを通じてますます元気になっていき、好循環をもたらしてくれると思っております。また、9月にジャパンビーチゲームフェスティバル千葉、10月にはパラトライアスロンアジア選手権大会、今後も海浜エリアで色々なイベントが行われます。これらは見るだけでなく参加もでき、かつ障害の有無や世代を問わないイベントであり、このような広く市民の皆さまがスポーツに親しむ機会というものを積極的に創出していきたいと思っております。

本日の議題は、各事業の実績報告とともに、来年度からの新しいスポーツ推進計画の骨子案についてご審議いただければと思います。皆様には是非、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【奈良担当課長補佐】それではこれから進行につきましては小川直哉会長にお願いいたします。

【小川会長】それではまず、「議事録署名人」についてですが、先程、進行の方から説明がありましたように、本審議会は会議の公開がされているわけでございます。議事録の確定方法につきましては、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

【各委員】<異議なし>

【小川会長】それでは、議事録署名人として、利渉委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【利渉委員】<了承>

【小川会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。最初に、報告事項1の「令和6年度スポーツ振興事業実績及び令和7年度方針と施策について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【田口主査】<資料1により報告>

【小川会長】ありがとうございました。続きまして、保健体育課よりお願ひいたします。

【中村課長補佐】<資料2により報告>

【小川会長】ありがとうございました。続きまして、スポーツ協会よりお願ひいたします。

【布施事務局補佐】<資料3により報告>

【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの報告の中で何かご質問等ありますか。

【佐倉委員】スポーツ協会の事業で、「収益事業」の収支状況はどのようになっていますか。

【布施事務局補佐】「公益事業」は赤字だが、「収益事業」はアルティーリ千葉さんにご利用いただいておりますこともあり黒字で事業運営出来ております。健全な経営だと当協会監事からも報

告いただいております。

【佐倉委員】ありがとうございます。

【小川会長】続きまして、「千葉市スポーツ推進計画の進行管理」について、スポーツ振興課よりお願いいたします。

【田口主査】<資料4により報告>

【小川会長】ありがとうございました。ただいまの報告の中で何かご質問等ありますか。

【佐倉委員】79番「千葉市スポーツコーチャーの資質向上」について、スポーツコーチャーには、どのような資質が必要と考えているか。また、講習会の開催のみで資質向上になるのか疑問である。さらに、就任基準をもっと厳しくしてもいいように思いますが、どう考えておりますか。

【奈良担当課長補佐】スポーツコーチャーの就任には明確な基準はなく、過去の実績や仕事歴等を重視して募集しております。講習会については、熱中症が近年深刻な問題となっていることを受け、今年度は「熱中症予防」に関する講習会を開催し、対策を講じております。また、年2回の専門部長が集まる場において、質に対する疑問の声もあり、改善していくかなければいけないという問題意識を持っております。スポーツ協会とも協力し、研修内容の改善に取り組んでいく方針です。また、年齢層も高くなっていますので、その点も踏まえた研修を検討していきます。

【佐倉委員】就任基準があいまいで、種目によってもバラつきがあるため、「あの人本当にスポーツコーチャーでいいのか?」という声も聞きます。基準の明確化や厳しくすることも考えてほしいと思います。

【奈良担当課長補佐】ありがとうございます。今後検討していきたいと思います。

【高橋委員】表の見方について確認です。取り組み状況欄に「×」の記載がある事業は、事業自体が終了しているという理解で良いでしょうか。

【田口主査】ご認識のとおり、取り組みが終了した事業です。

【高橋委員】それでは、4番「若い成人世代の体力づくり」は、取り組みが終了したということでしょうか。

【田口主査】こちらは、管理項目が「プチ体操パンフレットの増刷配布」となっており、その増刷配布が終了したという意味です。「若い成人世代の体力づくり」全体が終了したということではありません。

【高橋委員】わかりました。では、62番「小学校運動能力検定の実施」も「×」となっていますが、こちらは事業が終了したということでしょうか。

【中村課長補佐】はい。61番「新体力テストの実施」と検定項目がかなり重複していたため、検討の結果、廃止となりました。

【利渉委員】74番「国際的・全国的スポーツイベントの誘致」について、目標が20件に対し、実績が10件となっています。目標に到達しなかった理由など教えていただけますでしょうか。

【田口主査】主な誘致の取り組みとしては、施設の優先確保と負担金の支出の2つがあります。特に施設の優先確保については、開催地が年ごとに持ち回りで変わる大会もあり、変動があります。また、大会日程が重なるなどの理由で、すべての大会を受け入れることが出来ないことも要因だと考えています。

【利渉委員】わかりました。ありがとうございます。

【小川会長】定期的に利用いただいている団体もあると思いますが、毎年の利用ではない新たな大会の誘致については、競技団体への働きかけなどは行っているのでしょうか。

【内山課長】補足いたします。まず、20件というのは前計画の目標であり、現行計画では目標数値は定めておりません。前計画は東京オリンピック・パラリンピック前に策定されたもので、オリパラを契機に都内に多くの新施設が整備されました。そのため、主催者側の開催地選択の幅が広がっています。また、ポートアリーナは建設から30年を経過しており、施設のスペックでは新しい施設と比較して劣る部分もあるという状況です。そして、小川会長からご指摘いただいた点についてですが、毎年開催いただいている大会については、我々も重要な大会と認識しております、丁寧に毎年調整を行っています。現状では、開催希望が多く、嬉しい悲鳴ではありますが、お断りをしなければならない団体もある状況です。いろいろな競技が見られるよう、公平に取り組んでいきたいと考えております。

【利渉委員】市側も様々な大会を選択するチャンスが広がってきた一方で、都心では新しいアリーナの開発が進んでいる状況があります。こうした背景を踏まえると、スポーツ施策自体を街づくりの視点から、ハード面も含めて考えていく必要があるという課題を、市としても持っているという認識でよろしいですか。

【内山課長】現在、我々が所管しているポートアリーナを中心に街づくりを進めるというのは、現実的には難しい面があります。ただし、他部局で検討しておりますマリンスタジアムの建て替えなどについては、従来の「スポーツ推進」という枠組みだけでなく、地域の活性化など経済部門も一体化に考える必要があると認識しています。市全体でどのようなことができるのか検討していく方針です。

【利渉委員】わかりました。ありがとうございます。この後の第2期スポーツ推進計画においても、世の中のグローバルなトレンドとして、考えなければいけない視点だと思い、質問させていただきました。

【小川会長】マリンスタジアムの建て替えや、アルティーリ千葉の新アリーナ建設の進捗状況について教えていただきたい。

【内山課長】マリンスタジアムについては、他部局が主管となっていますが、現在、メッセの駐車場を用地として建て替えを検討しています。基本的な球場部分は市が整備し、付帯施設については民間事業者と協議しながら、現行のマリンスタジアムよりもスケールの大きい施設を構想しています。なお、用地は千葉県が所有しているため、県との交渉も必要となります。現在は、実現に向けて調査を進めている段階というのが、マリンスタジアムの状況です。

アルティーリ千葉の新アリーナについては、アルティーリとディベロッパーのヒューリックが業務提携を行い、幕張海浜公園のAブロックに新アリーナを建設できないかという検討を進めていました。7月1日には、両者から市長に対して申し入れがあり、Aブロックに2万人規模のアリーナを建設したいという計画が示されました。建設後の施設については、営業は事業者側で行う、千葉市への「負担付寄附」という形を取りたいという申し入れ内容でした。これを受けて、市としては、その申し入れが妥当であるか、受け入れ可能かどうかを現在検討している状況です。

【小川会長】ありがとうございます。他に何かございますか。

【五月女委員】項目の中には入っていませんが、部活動の地域移行について、進捗状況を教えてください。

【奈良担当課長補佐】令和7年度は、すべての市立中学校で、各校2つ以上の部活動を対象に実証事業を開始します。事業者は3社を予定しており、1社が2区を担当します。令和9年度からの全市展開を目指して準備を進めており、基本的には今ある部活動を活かして、地域に展開していくように取り組んでいます。

【五月女委員】部活に参加する生徒には、受益者負担が発生するのでしょうか。

【奈良担当課長補佐】現在は実証事業の段階であり、受益者負担については検討中です。

【五月女委員】指導者には教育委員会の予算から報酬が支払われる一方で、生徒に受益者負担が発生するとなると、「教育がビジネスに変わった」「生徒が商品に変わった」と感じるところがあります。教育の一環である部活動において、費用が必要になることで参加できない生徒が出てくる可能性があり、長年教育に携わってきた立場からすると、残念な方向に進んでいるように感じます。

【奈良担当課長補佐】ひとまず、令和7年度は3社による実証事業を実施することが決定していますが、公平性は非常に重要だと考えております。誰一人取りこぼすことなく、すべての生徒がスポーツに取り組める環境を提供する必要があるので、経済的な理由で参加ができないということがないよう、しっかりとフォローしていきたいと考えております。

【五月女委員】ぜひその点はサポートをお願いします。スポーツコーチャーの話にも通じますが、生徒とのマッチングの問題もあると思います。指導者によって、部活動のありかたは大きく変わります。生徒に与える影響は非常に大きいため、教育者としての視点も大切だと考えています。

【堺部長】ご意見ありがとうございます。少し補足いたします。現在は実証事業の段階であり、結論的なことは申し上げられませんが、今回の事業者選定は、市が実証を行うための委託事業者として選定したものであり、民間のビジネスに丸投げするということではありません。その中で、教育的観点や生徒への配慮を十分に留意しながら、事業を進めいく方針です。また、受益者負担については、何らかの料金をいただく方向にはなっていくとは思いますが、経済的な問題を抱える生徒への対応については、重要な検討課題として十分に認識しています。引き続きご指導のほどお願いいたします。

【佐藤委員】あとで勉強するために、選定された事業者3社を教えて下さい。

【奈良担当課長補佐】株式会社オーフィットネス、合同会社Fountain、JR東日本スポーツ株式会社の3社です。

【小川会長】部活動の地域移行については、引き続き当審議会にて、逐次進捗をご報告いただければと思います。

【佐藤委員】92番あたりに記載のある障害者スポーツについてお話しさせていただきます。普通中学校から特別支援学校の高等部に進学する生徒など、障害の種類や程度によって様々なケースで、活動の場がなく取りこぼされている方がいて困っています。どこに相談すればよいでしょうか。どの機関も努力されているとは思いますが、それでも取りこぼされている生徒がいるのが現状です。

【内山課長】スポーツをやりたくても、やる場所がないという方々を受け入れる場として、スポーツ協会ではパラスポーツ教室などを実施しています。その先には、サークルなどを立ち上げていただけると良いと考えています。また、スポーツをやりたい方と団体をマッチングする「パラスポーツコンシェルジュ」をスポーツ協会に設置するなどの取り組みも行っています。ただ、ご指摘のとおり、障害者がスポーツをする場が十分に確保されていないという課題は、市としても認識しています。現時点では、組織的にどのように受け入れるかについて明確にお答えすることはできませんが、差し迫ったご相談がある場合は、個別にご連絡いただければと思います。

【佐藤委員】ありがとうございます。私のところには、「この子がここで漏れている」「この子はここで漏れている」といった情報が寄せられていますので、まずはコンシェルジュに相談させていただきます。

【小川会長】ありがとうございました。その他、ご質問・ご意見等ございますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、以上で報告は終了とし、審議に入ります。

第2期千葉市スポーツ推進計画骨子案について、スポーツ振興課よりお願ひいたします。

【田口主査】<資料5により説明>

【小川会長】ありがとうございました。ただいま説明がありました「第2期千葉市スポーツ推進計画骨子案」について、ご質問・ご意見をお願いします。

【利渉委員】国も第4期スポーツ基本計画の策定に取り掛かっているかと思いますが、そのあたりの情報は、すでに千葉市でも踏まえたうえで本骨子案が作成されているという認識でよろしいでしょうか。

【田口主査】当骨子案は、第3期までの内容を参照して作成したものです。第4期の内容については、10年計画の中間年である5年目に見直しが行われる予定ですので、その段階で最新の基本計画を参照し見直しを図ります。

【利渉委員】承知しました。第4期の策定に携わっている委員の方と少しお話をした際、「ウェルビーディングの向上」「ソリダリティ」「ユニバーサル」などのキーワードが挙がっていました。また、社会課題の解決のためのチャンスにしようという言葉も出ていたようです。今回ご説明いただいた骨子案には、そうした要素が含まれているように感じました。今後、具体的な施策に落とし込む際には、さらに国がどのような構成で計画を考えているかを踏まえたうえで、内容に反映していただけるとより良いと感じます。

【佐倉委員】7ページの施策体系についてですが、関連する国の施策の欄に、スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」とあります。千葉市の計画における「ハード」面の推進については、どのように考えているのでしょうか。

【田口主査】「ハード」面の推進については、先ほど計画の現在の進行管理の中でも触ましたが、我々スポーツ振興課だけでなく、マリンスタジアムの移転など市全体としての取り組みも関係してきます。新計画ではスポーツ振興課単独の事業に限らず、市全体の取り組みを素案の中に盛り込んでいく方針です。

【佐倉委員】スポーツを日常的な身体活動まで幅広く捉えるという考え方と、大規模なスタジアムの建設を「ハード」面で推進するというのは、少しミスマッチのように感じます。もっと身近にスポーツができる場所を増やしていくことも必要ではないでしょうか。

【内山課長】ご指摘のとおり、大規模施設だけが「ハード」ではありません。市内にはすでに、我々が所管している多くのスポーツ施設があります。地域のスポーツ活動はこうした施設で展開されており、安全に活動できるような継続的な施設の維持管理が重要です。これも「ハード」面の1つと捉えており、引き続き適切な管理運営に務めてまいります。

【佐倉委員】アーバンスポーツ施設の整備についても検討されていますか。

【内山課長】アーバンスポーツに関しては、蘇我スポーツ公園に多目的広場があり、千葉公園内には自転車のパンプトラックがあります。また、海浜幕張では、日本サッカー協会からJFA夢フィールドの一部をお借りし、スケートボードができるようにしています。これら3つは我々が関与している施設で、他には民間の施設などもあります。新たなアーバンスポーツ施設の建設計画は現時点ではありません。ただし、XGamesなどのイベントを主催・開催するなど、推進に取り組んでいますので、身近にスポーツができる場所の確保は課題として認識しており、今後どのような方法が適切かを研究していきたいと考えています。

【利渉委員】ちょうど環境整備の話が出たので、これは質問ではなく意見になりますが、「スポーツを幅広く捉える」という方針はすごく良いと感じています。さまざまな世代を取り込もうとするならば、散歩や買い物に行くといった行為もアクティビティの1つですし、「車を使わずに歩こう」といったきっかけづくりだけでも、運動率の向上につながると思います。スポーツの場づくりという観点では、大規模な施設の整備という視点もありますが、一方で、街のインフラそのものが運動の場となるような考え方方が、計画の中にあっても良いのではないかと思います。たとえば、歩道が歩きやすい、歩いていて楽しいと感じられるような環境が整備されるだけでも、歩く人は増えるはずです。お金をかけずに出ることも多くあると思いますので、そうした視点からの取組みも進めていただけないと良いと感じます。

【堺部長】ご意見ありがとうございます。「スポーツを幅広く捉える」という点について、散歩やレクリエーションなど、スポーツ施設の中だけでなく、より広い公共空間で行われる活動も含まれると考えています。そうした場でなにができるのか、あるいはどうすれば活動しやすくなるのかという点は、今後10年の大変なテーマであると認識しています。我々スポーツ部門の取り組みに加え、例えば都市局では、「ウォーカブル」という考え方のもと、駅周辺など複数のポイントで、歩いて楽しめる、滞留して楽しめるような街づくりを進めています。そうした取り組みと我々の活動をどこか連携させながら、幅広い意味でのスポーツの推進に取り組んでいきたいと考えています。

【利渉委員】ありがとうございます。スポーツ施策は、街づくりにおいて最も重要な要素の1つだと考えています。ですので、そうした分野にも積極的に関わっていただき、過ごしやすい街づくりにつながるような取り組みを進めていただければと思います。

【梅村委員】7ページの施策体系についてですが、もう少し具体的な施策や関連施策を落とし込んで説明していただけすると、より多くの意見が出て、我々としても「何ができるか」考えられると思うので、具体的な内容を盛り込んでいただけたとありがたいです。

【田口主査】素案の段階では、より具体的な事例を落とし込んでご説明できるようにしたいと思います。

【高橋委員】我々サッカークラブとして今課題だと感じているのは、環境面の問題です。たとえば、先々週末に開催予定だったWEリーグの試合が雷の影響で中止となりました。また、日本サッカー協会では熱中症対策として、11時から15時の時間帯には試合を組まないようにという方針が出されています。このように、夏場に運動できない時間帯が増えており、施設の利用率が大きく低下しています。結果として、スポーツの実施率にも影響が出ていると感じており、今後この点についても考えていく必要があると思っています。

【小川会長】他にご意見ございますか。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、ただいまの骨子案についてご承認いただけますなら拍手をお願いいたします。

【各委員】<拍手>

【小川会長】ありがとうございます。

【内山課長】1点、すみません。6ページの基本方針のところですが、将来像①～③まであり、本日ご意見をいただき、3つのうち1つに絞りたいと考えております。なお、3つの中以外でもご意見があれば、ぜひお寄せください。

【佐倉委員】「インクルーシブ」という言葉について、市民の方々がどの程度その意味を理解できるのか疑問に思います。ただ、スポーツ少年団の事業でも、「インクルーシブ」に代わる良い言葉を探しましたが、適切な表現が見つからなかったということがありました。

【梅村委員】この短い標語の中に、「スポーツ」という単語が二度登場するのは、少し違和感があります。

【利渉委員】「スポーツ都市」の言い換えとして、最近では「アクティブシティ」という言葉が使われることもあります。ただ、今回の文脈に適しているのかは、少し疑問です。

【高橋委員】②や③の案は、「スポーツが～」という主語が明確に示されていて、文章として意味が分かりやすく、良いと感じました。また、一例ですが、「インクルーシブなスポーツ都市 千葉～スポーツがみんなとまちの元気をはぐくむ～」というように、サブタイトル的に表現するのも良いと思います。

【梅村委員】「インクルーシブなスポーツ都市」という表現を、一言で簡潔にまとめたいところですが、なかなか難しく悩ましいです。

【五月女委員】3つの案はどれも良いと思いますが、助詞を減らして「みんな笑顔！まちは元気！」のようにすると、よりインパクトが出て良いのではないかと思います。

【小川会長】色々な意見が出ましたので、事務局で取りまとめていただき、後日、委員の皆様に選んでいただくという形で進めてはいかがでしょうか。

【内山課長】承知しました。いただいたご意見を踏まえ、原案作成の前後いずれかの段階で、改めて委員の皆様にご提示し、決定していきたいと思います。

【小川会長】それでは、以上を持ちまして、審議を終了いたします。進行を事務局にお返しします。

【奈良担当課長補佐】小川会長議事進行ありがとうございました。それでは、これをもちまして、「令和7年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」を終了致します。ありがとうございました。

閉会 12時00分